

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

横浜市 中間報告会 報告書

2018（平成 30）年 12 月 17 日（月）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」横浜市中間報告会が開催されました。当日は、横浜市のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方 18 名に加え、横浜市オリパラ市民課の方々も参加されました。

【開催概要】

日時：2018（平成 30）年 12 月 17 日（月）16 時 00 分～16 時 50 分

会場：関内第一ビル 210 号室

主催：横浜市教育委員会

参加者：23 名

プログラム：

16:00～16:05 開会の挨拶

横浜市教育委員会事務局指導部 指導企画課 首席指導主事 木村 典明 氏

16:05～16:20 事業実施報告書の作成について

1 月 31 日の報告会について

横浜市教育委員会事務局指導部 指導企画課 主任指導主事 高橋 義成 氏

16:20～16:30 予算について

横浜市教育委員会事務局指導部 指導企画課 漆畑 優紀 氏

16:30～16:45 質疑応答およびグループでの情報交換

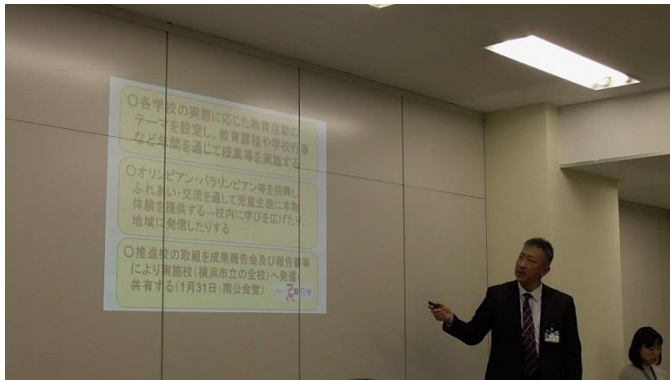
「各学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進計画について」

16:45～16:50 閉会の挨拶

開会行事では、横浜市教育委員会事務局指導部指導企画課の木村氏より挨拶がありました。

次に、横浜市教育委員会事務局の高橋義成氏より、事業実施報告書の提出ならびに 1 月 31 日に行われる報告会についての説明がありました。実施報告書に関しては、期限や作成の際の注意点等が、実際に用いられる報告書の例に基づいて説明されました。報告書は横浜市の推進校 16 校分をまとめ、冊子にする予定とのことです。また、1 月 31 日に実施予定の報告会に関しては、競泳のパラリンピアンである成田真由美さんにご講演をしていただくと共に、推進校の中から代表校を選出し、おこなった実践の様子について発表していただく予定とのことでした。

次に、事務担当の漆畑優紀氏から、経費使用上の注意等の説明がありました。



高橋 義成 氏



会場の様子

その後行われたグループごとの情報交換では、それぞれの学校での取り組みについて報告が行われていました。本センターの研究員、東海林沙貴も、実際に1つのグループでのディスカッションに加わり、各学校での取り組みの内容を伺いました。いずれの学校においても充実した実践が行われていた様子でした。例えば、城郷小学校では、陸上のオリンピックをお招きし、講演と実技指導を実施したところ、児童たちは熱心に話を聞くだけでなく、実技指導にも楽しそうに取り組んでいたとのことでした。鴨志田緑小学校では、体操のオリンピックをお招きし、講演や実技指導を受ける機会を設けたそうです。岡村小学校では、長年体育授業の研究校となっており、年間の指導計画にオリパラ教育を関連づけていました。そして、学習発表会での題材にオリパラを扱ったり、ゆるスポーツの体験会の実施、早稲田大学の間野義之先生を講師としてお招きした教員向けの研修会の実施、校内でのオリパラ写真展の掲示を行ってきたとのことでした。学校だより等を通じて推進校としての取り組みを発信しており、保護者や地域の方からの反応が良いとお話しされていました。

3名の先生方が共通してお話しされていたのは、実際にアスリートご本人から話を聞く機会が、子供たちにとって非常に貴重な経験になっているということでした。多くのアスリートが「自分を信じる」ということを話しているが、そのような言葉は簡単に言えることではなく、非常に説得力があり、子供たちにも刺激になっていると思うと話していらっしゃいました。

情報交換のあとは、オリパラ市民課の方から500日前イベントや来年以降の予定等についてのお話があり、散会となりました。



グループディスカッションの様子